177　有馬症候群

□ 新規　□ 更新

**■　基本情報**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | | | | | | | |
| 姓(漢字) 　　 　　　 名(漢字)  姓(かな) 　　　　　 名(かな) | | | | | | | |
| **住所** | | | | | | | |
| 郵便番号 住所 | | | | | | | |
| **生年月日等** | | | | | | | |
| 生年月日 | | | 西暦 年 月 日 | | 性別 | 1.男 2.女 | |
| 出生市区町村 | | |  | | | | |
| 出生時氏名（変更のある場合） | | | 姓(漢字) 名(漢字)  姓(かな) 名(かな) | | | | |
| **家族歴** | | | | | | | |
| 近親者の発症者の有無 | | 1.あり 2.なし 3.不明 発症者続柄 1.父 2.母 3.子 4.同胞（男性） 5.同胞（女性）6.祖父（父方）  7.祖母（父方） 8.祖父（母方） 9.祖母（母方）10.いとこ 11.その他（　　　　　　） | | | | | |
| 両親の近親結婚 | | 1.あり 2.なし 3.不明 詳細： | | | | | |
| **発病時の状況** | | | | | | | |
| 発症年月 | 西暦 年 月 | | | | | | |
| **社会保障** | | | | | | | |
| 介護認定 | 1.要介護 2.要支援 3.なし | | | 要介護度 | | | 1 2 3 4 5 |
| **生活状況** | | | | | | | |
| 移動の程度 | 1.歩き回るのに問題はない 2.いくらか問題がある 3.寝たきりである | | | | | | |
| 身の回りの管理 | 1.洗面や着替えに問題はない 2.いくらか問題がある 3.自分でできない | | | | | | |
| ふだんの活動 | 1.問題はない 2.いくらか問題がある 3.行うことができない | | | | | | |
| 痛み／不快感 | 1.ない 2.中程度ある 3.ひどい | | | | | | |
| 不安／ふさぎ込み | 1.問題はない 2.中程度 3.ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる | | | | | | |

**■　診断基準に関する事項**

**症状の概要、経過、特記すべき事項など**

|  |
| --- |
|  |

**Ａ．症状**

|  |  |
| --- | --- |
| ①　重度の精神運動発達遅滞 | 1.あり　2.なし　3.不明 |
| ②　小脳虫部欠損・低形成（脳幹部の形態異常を伴うことがある） | 1.あり　2.なし　3.不明 |
| ③　乳幼児期から思春期に生ずる進行性腎機能障害 | 1.あり　2.なし　3.不明 |
| ④　病初期からみられる視覚障害（網膜部分欠損などを伴うことあり） | 1.あり　2.なし　3.不明 |
| ⑤　片側あるいは両側性の眼瞼下垂様顔貌（症状の変動があることがある） | 1.あり　2.なし　3.不明 |

**Ｂ．臨床所見（該当する項目に☑を記入する）**

|  |  |
| --- | --- |
| ①　顔貌の特徴　：　□ 眼瞼下垂　　□ 眼窩間解離　　□ 鼻根扁平　　□ 大きな口 | 1.あり　2.なし　3.不明 |
| ②　病初期からの症状　：　□ 脱水 　 □ 成長障害 　□ 不明熱 | 1.あり　2.なし　3.不明 |

**Ｃ．検査所見（該当する項目に☑を記入する）**

|  |  |
| --- | --- |
| ①　血液検査　：　□貧血　　□高BUN　　□高クレアチニン血症 | 1.該当　2.非該当　3.不明 |
| ②　尿検査　：　□低浸透圧尿　　□尿中β２ﾏｲｸﾛｸﾞﾛﾌﾞﾘﾝ高値　　□尿中NAG高値 | 1.該当　2.非該当　3.不明 |
| ③　網膜電位（ERG）検査　：　□反応消失　　□著減 | 1.該当　2.非該当　3.不明 |
| ④　頭部CT、MRI検査　：　□小脳虫部欠損・低形成　　□脳幹低形成 | 1.該当　2.非該当　3.不明 |
| ⑤　腎CT、MRI、超音波検査　：　多発性腎嚢胞 | 1.該当　2.非該当　3.不明 |
| ⑥　腎生検　：　ネフロン癆 | 1.該当　2.非該当　3.不明 |
| ⑦　腹部エコー検査　：　□脂肪肝　　□肝腫大　　□肝硬変　などの肝障害 | 1.該当　2.非該当　3.不明 |

**Ｄ．鑑別診断**

|  |  |
| --- | --- |
| 以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。除外できた疾病には☑を記入する。 | 1.全て除外可　2.除外不可 3.不明 |
| □ジュベール症候群　　　□セニオール・ローケン症候群　　　□COACH症候群 | |

**Ｅ．遺伝学的検査**

|  |  |
| --- | --- |
| 遺伝学的検査の実施 | 1.実施　2.未実施 |
| 実施した場合、異常がある項目に☑を記入する | |
| □*INPP5E*□*TMEM216*□*AHI1*□*NPHP1*□*CEP290*□*TMEM67* □*RPGRIP1L* □*ARL13B*□*CC2D2A*  □*CXORF5*□*TTC21B*□*KIF7*□*TCTN1*□*TMEM237*□*CEP41*□*TMEM138*□*C5ORF42*□*TCTN3*  □*ZNF423*□*TMEM231*□*EXOC8*□*NPHP4*□*IQCB1*□*SDCCAG8*　□その他（　　　　　　　　　　　） | |
| 備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |

＊その他の遺伝子検査を実施した場合や詳細な所見の記載が必要な場合には備考欄に記入する

**＜診断のカテゴリー＞（該当する項目に☑を記入する）**

|  |
| --- |
| □Definite：Ａのうち５項目すべてを満たし、Ｄを除外したもの |
| □Probable：Ａのうち①と②＋Ｂ.臨床所見①＋Ｃ.検査所見4項目以上を満たし、Ｄを除外したもの |

**■　重症度分類に関する事項（該当する番号に○をつける）**

**modified Rankin Scale（mRS）**

|  |
| --- |
| 0.まったく症候がない　　1.症候はあっても明らかな障害はない（日常の勤めや活動は行える）  2.軽度の障害（発症以前の活動がすべて行えるわけではないが、自分の身の回りのことは介助なしに行える）  3.中等度の障害（何らかの介助を必要とするが、歩行は介助なしに行える）　　4.中等度から重度の障害（歩行や身体的要求には介助が必要である）  5.重度の障害（寝たきり、失禁状態、常に介護と見守りを必要とする） |

**食事・栄養**

|  |
| --- |
| 0.症候なし　　1.時にむせる、食事動作がぎこちないなどの症候があるが、社会生活・日常生活に支障ない  2.食物形態の工夫や、食事時の道具の工夫を必要とする　　3.食事・栄養摂取に何らかの介助を要する  4.補助的な非経口的栄養摂取（経管栄養、中心静脈栄養など）を必要とする　　5.全面的に非経口的栄養摂取に依存している |

**呼吸**

|  |
| --- |
| 0.症候なし　　1.肺活量の低下などの所見はあるが、社会生活・日常生活に支障ない　　2.呼吸障害のために軽度の息切れなどの症状がある  3.呼吸症状が睡眠の妨げになる、あるいは着替えなどの日常生活動作で息切れが生じる  4.喀痰の吸引あるいは間欠的な換気補助装置使用が必要　　5.気管切開あるいは継続的な換気補助装置使用が必要 |

**CKD重症度分類ヒートマップ**

|  |  |
| --- | --- |
| □赤　　　　　□オレンジ　　　　　□黄　　　　　□緑 | |
| ①GFR区分  (mL/分/1.73㎡) | □G1（正常または高値:≧90）　　 　　□G2（正常または軽度低下:60～89）  □G3a（軽度～中等度低下:45～59）　 □G3b（中等度～高度低下:30～44）  □G4（高度低下:15～29）　　 □G5（末期腎不全（ESKD）:＜15） |
| ②蛋白尿区分  尿蛋白定量(g/日)あるいは尿蛋白/Cr 比(g/gCr) | □A1（正常　0.15未満）　 　□A2（軽度蛋白尿　0.15～0.49）  □A3（高度蛋白尿　0.50以上） |

**視覚**

|  |  |
| --- | --- |
| 視覚障害：良好な方の眼の矯正視力が0.3未満 | 1.該当　2.非該当　3.不明 |

**■　人工呼吸器に関する事項（使用者のみ記入）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 使用の有無 | 1.あり | | | | | |
| 開始時期 | 西暦 年 月 | | | 離脱の見込み | | 1.あり 2.なし |
| 種類 | 1.気管切開口を介した人工呼吸器 2.鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器 | | | | | |
| 施行状況 | 1.間欠的施行 2.夜間に継続的に施行 3.一日中施行 4 .現在は未施行 | | | | | |
| 生活状況 | 食事  整容  入浴  階段昇降  排便コントロール | □自立 □部分介助 □全介助  □自立 □部分介助/不可能  □自立 □部分介助/不可能  □自立 □部分介助 □不能  □自立 □部分介助 □全介助 | 車椅子とベッド間の移動  トイレ動作  歩行  着替え 排尿コントロール | | □自立 □軽度介助 □部分介助 □全介助 □自立 □部分介助 □全介助  □自立 □軽度介助 □部分介助 □全介助  □自立 □部分介助 □全介助  □自立 □部分介助 □全介助 | |

|  |
| --- |
| 医療機関名  指定医番号 医療機関所在地 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号 （ ） 医師の氏名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印　　記載年月日：平成 年 月 日　　　　　　　※自筆または押印のこと |

・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。

（ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。）

・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近６ヵ月間で最も悪い状態を記載してください。

・診断基準、重症度分類については、「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」（平成27年５月13日健発0513第１号健康局長通知）を参照の上、

ご記入ください。

・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。